

プレゼンテーション | 学生 → 企業

チーム名 中央大学H2M

提案 大学生の日常生活と QUICK Money Worldに繋がりを作る

「QUICK Money Worldが大学生に使われていない理由」を2つあげ、それぞれ具体的な解決策を提案。例えば「オンライン教材として授業に活用すれば、学生は単位ももらえて一石二鳥」と主張。また、使い勝手の改善点として「Myページを作る」「サイトではなくアプリにする」といった具体的な案も出た。



[参加学生] 瀬利晴香、鈴木悠、上野舞夕

わっ、緊張する！



プレゼンテーションには、常務取締役の伊藤朋子氏をはじめ、幹部社員がずらり。学生の身近な体験や具体的な提案にうなづく場面も多く、発表後の質問も活発に行われました。

「大学生の日常生活」ってなんだろう…



使い道いろいろ「ManyWorld」にしよう！

プレゼンで緊張しないといいなあ

このほうがわかりやすくなるんじゃない？



中間発表ではQUICKから担当者が2名来校。「もっと自分たちの身近な体験の話を入れて内容を膨らませたほうがいい」と気づき、原稿を書き直しました。緊張する3人に、ファシリテーターの原さんからは、「もっと笑顔で！」とアドバイス。

金融ポータルサイト QUICK Money Worldって大学生にも使えるの？

大学生にQUICK Money Worldを利用してもらうには、どのようなコンテンツ(仕掛け)を用意すべきか？

QUICKが提供する金融ポータルサイト「QUICK Money World」。大学生にはなかなか馴染みのないこのサービスの新たな企画を、中央大学の理工学部女子が提案します。



初めてQUICK Money Worldを使ってみると……

日経平均株価の算出を始めとするさまざまな金融情報を提供しているQUICK。お客様は金融機関など、B to Bの事業が中心ですが、証券会社や銀行を通じて、個人投資家向けの情報サービスにも力を入れていきます。QUICKは投資家の視野を広げるために、金融ポータルサイト「QUICK Money World」を運営しています。もっと広く知ってもらいたいとのことから今回の課題となりました。

オリエンテーションでは、実際に自分のスマートフォンで体験。企業の規模、割安度、安全性、収益性、成長といった5つのポイントを頂点にした5角形チャートで企業内容を調べられるのがQUICK Money Worldの特徴です。自分が好きなように5角形チャートを設定すれば、その条件に見合った会社がいくつも出てきます。そこで実際に、自分に合う会社を探してみること。

学生3人はこれまで投資をしたことはなく、QUICK Money Worldも知らなかったと言います。それでも「就活を想定して、成長性を重視して調べたら、パイオニアから宇宙まで」をキャッチコピーにしている会社に惹かれました。安全性も自己資本比率が70%台と高いので安心できそうです」などと発表。思ったより

簡単な操作で、さまざまな情報を得られることを実感しました。「QUICK Money Worldって難しい」と思っていたけど、意外と身近に感じたので、このサービスの利用者を増やすという課題を考えるのは面白いかも」といった感想も聞かれました。

真の課題とは何か

今回は3日間の短期決戦です。初日、パソコンでQUICK Money Worldを使ってみました。すると、スマートフォンでの使い勝手とは違うことを発見。また、課題にある「大学生に」の部分はどう理解したらいいのか、についてもそれぞれ意見を話し合っていきます。その結果、課題を3つに絞り込みました。①そもそも投資に関心のない人にどうアピールしたらいいのか、②大学生の日常生活のなかで使うにはどうしたらいいのか、③情報の見方、使い方の難しいところをどう改善するか。

2日目の中間発表ではQUICKの担当者から「①の課題は業界が長年抱えているテーマで大きすぎる。大学生の日常生活と結びつける具体的な提案のほうがいいのでは？」というアドバイスが。そこで今回は②③の課題を深めていくことに決め、改めて「大学生の日常生活とは何か」から考え直しました。発表前のプレゼン練習で、「もっとと具体例を入れたほうがいい」

オリエンテーション | 企業 → 学生



課題説明では、QUICK Money Worldの背景知識についての話があり、「若い人にもぜひ投資を身近に感じてほしい」という企業側の願いが伝えられました。その後、実際にスマートフォンでQUICK Money Worldを使って「企業探し」。思ったよりは操作が簡単であることを実感。投資判断の基礎となる「規模」「安全性」など5つのスコアについてのレクチャーもありましたが、「難しい用語が出てくるので、QUICK Money World自体をもっとわかりやすくすることが大事」といった意見も出ました。

と感じたメンバーは、実際に体験した留学中の出来事や、マンガのアプリの話などを入れることに。親しみやすい話を織り交ぜたことでよりわかりやすい内容になったようです。「構成がよく、論理的でとてもわかりやすかった」「QUICK Money Worldには、じつは就活にも役立つコンテンツが入っている。そこを汲み取ってもらえてとてもうれしい」という高い評価に3人もホッとした様子でした。

University Company

中央大学



1885年に英吉利法律学校として創立。多様な学問研究と実学教育が特徴。理工学部には110を超える研究室があり、研究力の高さは国内有数。

QUICK



日本経済新聞社系列の金融情報サービス会社。1971年の創業以来、日本の証券・金融市場を支えるさまざまな情報を提供し続けている。

PBLを終えて



中央大学理工学部 精密機械工学科3年 瀬利晴香さん

一昨年に続き2回目の参加ですが、今回は3日間と短期集中だからこそ学ぶところがありました。就活ではモノづくり系の会社を考えていましたが、今回のPBLでシステムを考えるのもすごく楽しいと感じたので、興味がわいてきました。



人財・総務本部 人財部 二村つかさん

ロジックが明解で素晴らしいです。中間発表では内容が少し抽象的だと感じましたが、プレゼンでは学生自身の話が入るなど改善されて、とてもわかりやすかったですね。これからも金融情報に前向きになってもらえたらうれしいです。